

項目	入力欄	入力の際の注意
科目名	教養演習	必須
教員名	阪本尚文	必須
授業概要とねらい	<p>テーマ:アメリカを知る 憲法史・政治史の視点から  アメリカは、戦後一貫して日本の政治・経済・社会・文化のあり方に圧倒的な影響を与えてきました。その限りでアメリカは私たちに「身近な国」であるけれども、他方、ときにこの国は、依然として容易な理解を拒む相貌を見せることがあります。この「近くて遠い国」をいかに理解すればいいのでしょうか？  本演習では、建国期以来のアメリカの憲法政治の歴史的展開を概観することを通して、異文化を理解するとともに、翻って日本を見つめなおす眼差しを獲得することを目的とします。  いま起きている出来事には出発点があり、源流をたどることで新たな一面が見える、ということを実感してもらい、ものごとを振り下げて考える契機を少しでも提供できれば、とも考えています。</p>	<p>必須  全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
望ましい水準	<p>報告の方法を身につける。  資料収集の方法を身につける。  批判を恐れず自分の意見を積極的に発言する。その際、言いつばなしではなく、あくまでも聞き手と状況を顧慮して説得に努めることで、将来公共的な職務に従事する際に必要となる「バランス感覚」を養う。  先人たちが悩んだ問題を自分に引き付けて考えると、受講生同士がそれらについて積極的に意見を交わすことを通じて、私たちの日常的な生活と大学で学ぶことがかけ離れたものではないと知ること。  「学問とはおもしろいものだ」という感じを（ひと時でも）味わうこと。</p>	<p>必須  全角200字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
授業計画	<p>第1、15回：ガイダンス  第2～14、16～29回：テキストの輪読と講論  第15、30回：予備日</p>	<p>必須  15回分記載してください</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
教材・教科書	<p>教科書：阿川尚之『憲法で読むアメリカ史』（筑摩書房、2013年）；同『憲法改正とは何か アメリカ改憲史から考える』（新潮社、2016年）；同『憲法で読むアメリカ現代史』（NTT出版、2017年）。他は授業中に指示します。</p>	<p>全角200字以内</p>
参考図書	<p>伊藤孝夫「ニューディール憲法革命再考」法学論叢158巻4号、2006年1月、1-27頁；同「ニューディール・ロイヤーズの肖像」法学論叢160巻3号、2007年1月、169-195頁；金井光生『裁判官ホームズとプラグマティズム「思想の自由市場」論における調和の霊感』（風行社、2006年）；同「拙著『裁判官ホームズとプラグマティズム』義解」アメリカ法2007年1号、2007年12月、95-109頁；同「思表現空間の設計構想（アメリカ）思想の自由市場という思想の自由市場」駒村圭吾／鈴木秀美編『表現の自由 状況へ』（尚学社、2011年）71-99頁；駒村圭吾／待鳥聡史編『「憲法改正」の比較政治学』（弘文堂、2016年）；斎藤眞・古矢旬『アメリカ政治外交史〔第2版〕』（東京大学出版会、2012年）；高橋和之編『新版 世界憲法集〔第2版〕』（岩波書店、2012年）；待鳥聡史『代表と統治のアメリカ政治』（講談社、2009年）。他は授業中に指示します。</p>	<p>全角200字以内</p>
参考URL		<p>半角100字以内</p>
授業以外の学習	<p>報告者以外も当該テキスト及びそこで注記されている参考文献を読了し、報告者に「ツッコミ」を入れる準備を事前にしてください。また、長期休業中にレポート課題を課します。</p>	<p>必須  全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の方法	<p>8割以上の出席が前提となります（1日のゼミで一度も発言しない場合は、欠席とみなすことがあります）。その上で、演習での報告・発言・提出物などを総合的に評価します。</p>	<p>必須  全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の基準	<p>演習での報告や発言を8割、レポートを2割で評価します。</p>	<p>必須  全角300字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
オフィスアワー	<p>適時（事前にメールにて連絡してください）。</p>	<p>必須  全角100字以内</p>
留意点・注意事項		<p>全角100字以内</p>
その他	<p>個人報告（テーマは何でもかまいません）の希望があれば、スケジュールを調整し、時間を確保します。</p>	<p>全角100字以内</p>
ディプロマポリシー大区分1	幅広い教養	<p>必須  ディプロマポリシーはプルダウンで選択してください。（セル右側の をクリック）  大区分を選択するとそれに対応する小区分が選択できるようになります。  大区分と小区分をセットで1つ以上選択してください。</p>
ディプロマポリシー小区分1	多角的・総合的思考（幅広い教養1）	
ディプロマポリシー大区分2	幅広い教養	
ディプロマポリシー小区分2	学問的思考の基礎（幅広い教養2）	
ディプロマポリシー大区分3	幅広い教養	
ディプロマポリシー小区分3	情報リテラシー（幅広い教養3-）	
ディプロマポリシー大区分4	自己形成力	
ディプロマポリシー小区分4	自己学習力（自己形成力1）	
ディプロマポリシー大区分5	自己形成力	
ディプロマポリシー小区分5	コミュニケーション力（自己形成力2）	
ディプロマポリシー大区分6	自己形成力	
ディプロマポリシー小区分6	キャリアデザイン力（自己形成力3）	
ディプロマポリシー大区分7	自己形成力	
ディプロマポリシー小区分7	関係形成力（自己形成力4）	
ディプロマポリシー大区分8	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分8	問題発見・調査・解読能力（行政政策学類）	
ディプロマポリシー大区分9	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分9	解決能力・応用能力（行政政策学類）	
ディプロマポリシー大区分10	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分10	表現力・コミュニケーション能力（行政政策学類）	
ディプロマポリシーその他		<p>全角999字以内</p>